

2021年10月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.141

9月議会 質問時間短縮で開会 不信任、特別委員会の設置めぐり紛糾

北口の旧観光案内所に、学習交流施設を設置するとういもの。事業目的が疑問だらけで、施設も狭く、利用スペースは限定されている。コロナ禍、施設修繕に4千万円、備

もう1件は、「市川駅
9月議会では、議案、諮問、認定、報告など29件が提案され、共産党は2議案に反対しました。1件は、「デジタル関連法制定に伴う一部改正」です。これは、市川市が保有する市民の個人情報

共産党は 2議案に反対

9月議会は、コロナ対策として、代表質問時間を延ばし一般質問を組み込む方法で9月3日から13日まで開会されました。初日冒頭に、無所属の会から、6月議会に続き、市長の不信任決議が提出されました。共産党は賛成しましたが、賛成少数で否決。また、市長が、実名をあげて市議のパワハラを問う特別委員会の設置を議長に申入れ、緑風会・公明党は設置する発議を提出、創生市川は設置しない発議を提出。共産党は、高坂議員が設置に反対する討論を行い、設置に賛成は17反対が23で、市長の申入れは否決されました。

品購入に1千万円かけてやるべきでないと、反対。

け等」と市議の実名をあげ、パワハラと断定して発表し、1社が報道しました。他社は、資料もなく、報道は見送ったという事です。

特別委設置に反対

高坂議員が「議会への告発は誰が見てもパワハラだという証拠を示した

市長が、8月24日の記者会見で、「日常的に繰り返されてきた威圧的・高圧的・無視・にらみつ

高坂議員が「議会への告発は誰が見てもパワハラだという証拠を示した

今度は内緒でシャワー室移設

「市民にも議会にも説明なし」

9月16日、新型コロナウイルス感染者の入院待機ステーションとして使用される大町の「少年自然の家」に、シャワー

を移設していたことが明らかになりました。直前まで開かれていた9月議会に、何ら説明もなく、新聞報道で



ガラス部分にはフィルム

知りました。9月議会の代表質問では「既存のシャワーの数では到底足りない。ちょうど台

風シーズンに入るところ。庁舎機能強化の観点から、活用する方向で考えている」と答弁したばかり。「少年自然の家」は、ベッド5床や酸素濃縮器などを備え、救急隊員らが24時間対応。シャワーは浴室の一角に移設し費用は約125万円。シャワー室の設置費用は約360万円。2度の撤去を求め、決議を無視した拳句に移設とは、開いた口が塞がりません。

うえですべきである。市長と同様に市民から選挙で選ばれている議員を、一片の紙の文書だけで、特別委員会を設置し、厳重な処分を求めるなど、考えられないことだ」と、反対しました。

市長に抗議文

9月22日、無所属の会と共産党は、市長に対し「シャワー室の撤去と移設を一部会派と一部マスコミだけに情報開示」したことに抗議し申入れを行いました。

市民アンケートに基づいて

地域要望を提出

【国府台・中国分】

洋式化)

- 公園トイレの改善
- 里見公園（バラ園側のトイレが急勾配、天井が壊れている、洋式化）
- 国府台5丁目児童公園（トイレ入口に雨水が溜まる、



がけ道の亀裂補修
・じゅんさい池緑地
・園路修繕4ヶ所、北側トイレの洋式化とスロープの修繕
・バス通り歩道拡幅と停留所移動など
・外環道について

【市川・真間】

- 根本橋のガードレールに隙間があり、危険
- 川沿いにある
- 川さく
- ら堤ショ
- ギング
- マップ
- の汚れ
- が酷い。



- 北国分駅と矢切駅を往復するコミバスは、7月末で終了しました。北西部地域にコミバスを走らせる会は、今後、交通不便地域解消のために何ができるのか、市としても考えてほしいと要望。
- 「指針」の見直し、タクシー代半額補助や京成バスの本数を増やすことなど、提案しました。

- 歩道と自転車レーンの段差解消、バイクの騒音対策
- 通学路の防犯灯改善

- 直すか、撤去を
- ・国道14号の京成タウンバス・広小路停留所付近の歩道の改善
- ・真間小学校の通学路に道路標示を
- ・市川駅北口に時計を

- 北国分コミバス廃止に伴い、交通不便地域解消のための要望



西部後援会宣伝

浅野ふみ子さんと一緒に訴えました



9月14日、月1回の西部後援会スーパー前宣伝を行いました。総選挙も近いので、9月は2回行うことにしています。今回は、浅野ふみ子県副委員長も参加し一緒に訴えました。中国分のヤオコー前には、17人が参加し、手書きの原稿も用意し、心を込めて訴えました。

浅野さんは、「共産党が政府に求めているコロナ対策、4野党共闘の合意、ジェンダー平等政策、気候危機に対する2030政策」などを訴え、「比例は、日本共産党」と訴えました。手を振っての激励、要望などもありました。

無料法律相談

◎11月9日（火）
担当 広松大輝弁護士
◎12月14日（火）
担当 高橋 勲弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控室まで

さあ、総選挙 共産党の緊急提言

☆保育所等のコロナ感染に関する緊急提言

9月21日、共産党国会議員団と党子どもの権利委員会は「保育所等のコロナ感染に関する緊急提言」を発表しました。（1）感染拡大を防ぐために、迅速な行政検査と定期検査を行うこと （2）保護者が安心して休めるように所得保障を確実に行うこと （3）保育所等の感染対策を自治体や国の責任で行うこと （4）感染症対策の観点から、直ちに最低基準の見直しに踏み出すこと

4つの施策には、家庭に検査キットを配布、子どもの体調不良時にすぐに検査が行えるようにすることや、所得保障を国の責任で行うことも盛り込まれている。

☆気候危機を打開する2030戦略



世界各地で、異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇など大問題になっています。日本共産党は、9月1日、地球温暖化による危機を打開するため、「2030戦略」を発表しました。

2030年までにCO²排出を50～60%削減（2010年比）することを掲げ、そのためにエネルギー消費を40%削減し、再生可能エネルギー比率50%に引き上げることを呼びかけています。電力産業などの社会システムの改革とともに、脱炭素を貧困、格差是正と一体に行うことも提起しています。ぜひ、お読みください。パンフレット220円です。